2.1Mega Pixel HD-SDI DOME CAMERA

USER MANUAL

MTC-HD1122/MTC-HD1132IR

http://www.mothertool.co.jp

ご使用の前に

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。
本機はすぐれた技術から創り出された信頼性の高い製品です。ご使用前に、この説明書をよくお読み頂き、本機を正しく安全にご使用下さるようお願い致します。

●本機の入力規格を超えた電圧や電流は絶対に入力しないでください。
●正しい接続を行ってください。接続を間違えますと機器にダメージを与えることがあります。
●本機は防水構造ではありませんので、屋外での使用はできません。
●本機を暖房機器の温風が直接あたる場所や直射日光があたる場所への設置は避けてください。内部の電気部品の寿命を縮める原因になります。
●本機を密閉した状態で使用しないでください。放熱効果が遮断されるため故障の原因となります。
●本体の清掃は硬く絞った布巾などをお使いください。科学薬品や洗剤は機器を痛める場合があります。
●高電圧を発生している装置(エアコンの室外機、モーター、コンプレッサーなど)の近くには設置しないでください。映像の乱れなどの影響を及ぼす場合があります。
●太陽光や蛍光灯の光などを直接撮影しないでください。
●不当な修理や改造は絶対にお止めください。
●電源には、付属の AC アダプターを必ずご使用ください。

目 次

1. 特徴	3
2. 各部の説明	3
3. 設置	4
4. メニュー設定	7
4-1 レンズ設定	7
4-2 露出設定(シャッタースピード・AGC・感度アップ・逆光補正)	8
4-3 ホワイトバランス	13
4-4 デイ&ナイト機能	14
4-5 ノイズリダクション機能	15
4-6 スペシャル機能(カメラタイトル・デジタル画像処理・動き検知・プライバシーマスク・言語選択・欠陥画素補正)	16
4-7 調整(シャープネス・モニター選択・OSD カラー設定・レンズシェディング補正)	24
4-8 リセット(メニュー設定の初期化)	26
4-9 戻る(メニュー設定の終了)	26
4-10 解像度の変更	27
5. 寸法図	28
6. 仕様	28
7. 修理に関して	29

セット内容

ご使用前にセット内容をご確認ください。

カメラ本体

AC アダプター

映像確認用コード

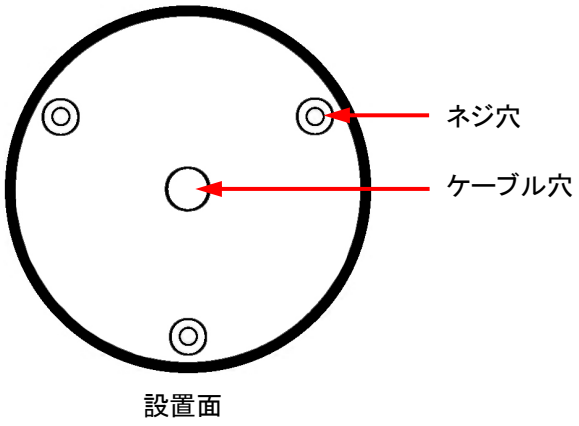
カバーオープナー

ネジ/コンクリートアンカー各 3

1 特　徴

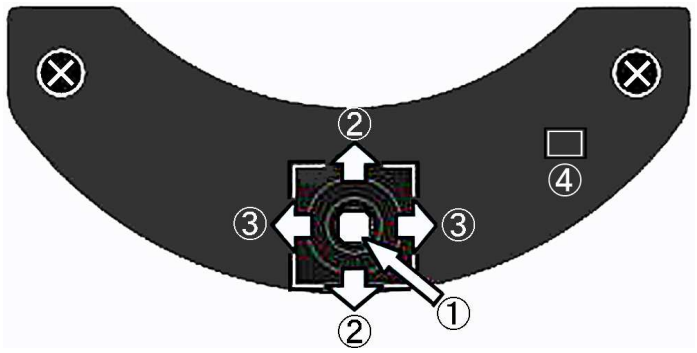
●フル HD1920×1080p の解像度の HD-SDI カメラ
●赤外線投光器を搭載し、夜間の撮影が可能（赤外線照射時は白黒撮影）※MTC-HD1132IR
●赤外線照射による乱反射を被写体に合わせて調整するスマート IR 機能
●D-WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能により明度の差が大きい撮影場所でも鮮明かつ自然な映像が撮影可能
●2D/3D-DNR（デジタルノイズリダクション）機能により、低照度撮影時のノイズを低減
●カメラタイトル機能により、画面上に最大 15 文字のカメラタイトルの表示が可能
●プライバシーマスク機能により、画面上の任意の領域を最大 8 ヶ所まで見えなくすることが可能
●各機能の設定は、モニター画面上にメニュー画面が表示され、コントロールボタンにて設定
●ケーブル長約 0.5m（映像・電源）

2 各部の説明



■OSD 操作スイッチ■

ドームカバーを取り外した、内部のドームベース上にあります。

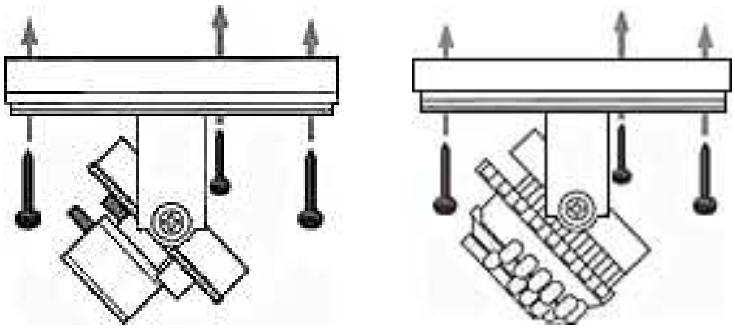


①押す	●モニターの画面上にメニュー画面を表示します。 ●↵ の位置でメニュー画面表示を切替えます。 ●項目の決定をします。
②上下操作	●カーソルを上下へ移動します。
③左右操作	●カーソルを左右へ移動します。 ●設定・数値の変更と選択をします。
④映像確認端子	●本体設置後にカメラの角度・焦点・画角の調整やメニューを設定する場合の映像確認用端子です。 付属の映像確認用コードを接続するとアナログ映像信号が出力されます。

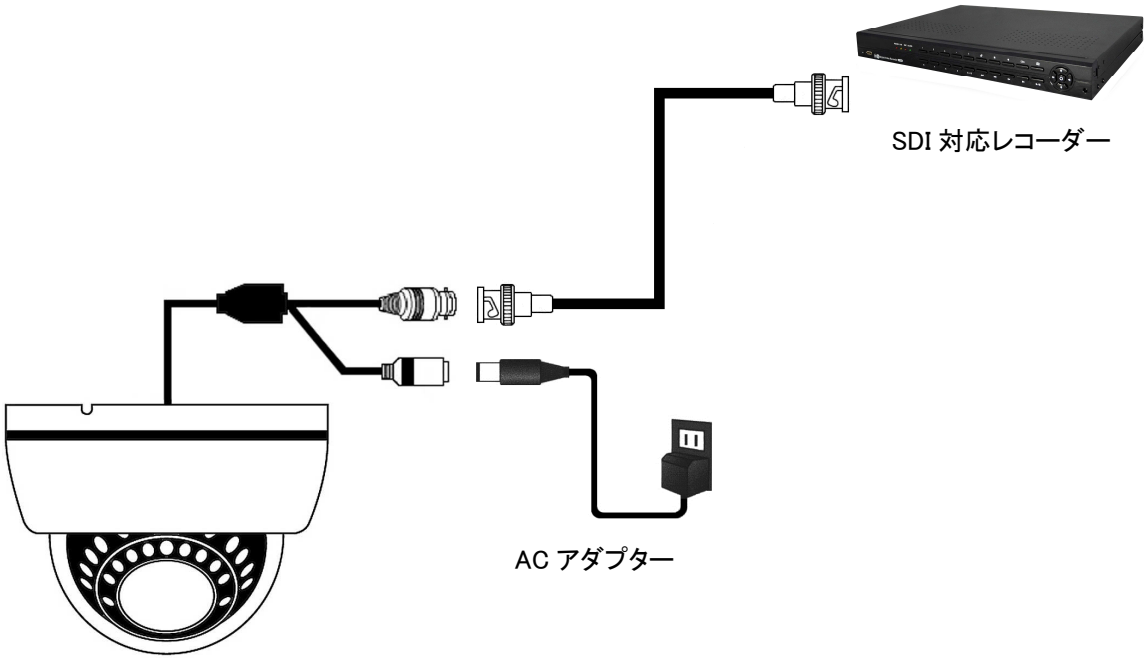
3 設 置

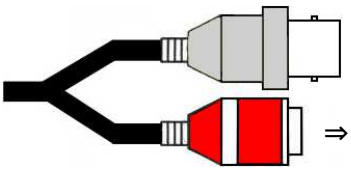
付属のカバーオープナーをドームカバーの溝に差し込み、カバーオープナーを回転させて、ドームカバーを取り外します。

付属のネジ 3 本にて、ドームベースを設置場所に固定します。



映像出力端子から SDI 対応レコーダーなどの映像入力端子へ配線をします。
電源入力端子を付属の AC アダプターと接続し、コンセントへ差し込みます。



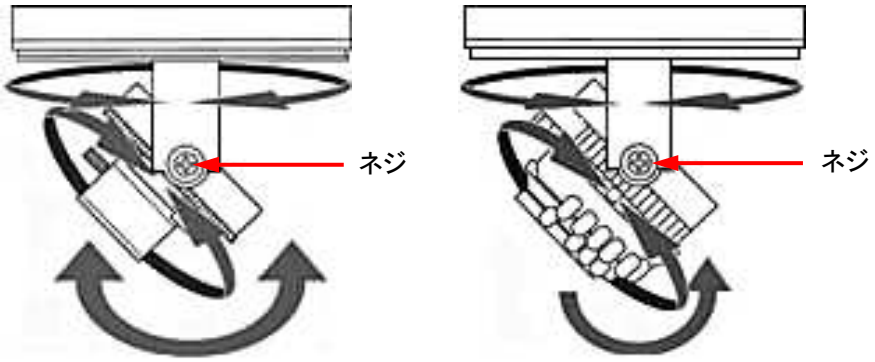


⇒SDI 映像出力端子：SDI 対応レコーダーの映像入力端子へ配線

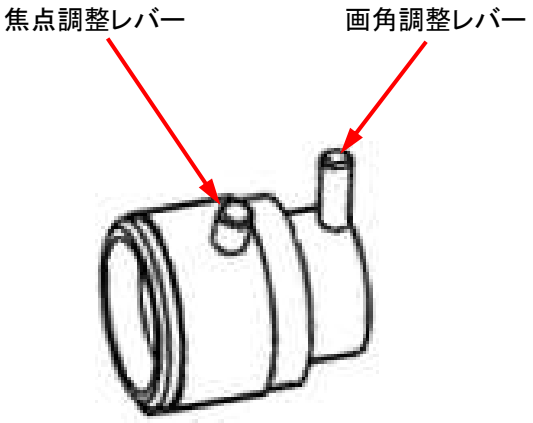
⇒電源入力端子(赤)：付属のACアダプターを接続

※カメラからレコーダーへの映像の配線には、必ず同軸ケーブルをご使用ください。
※赤外線の照射距離は、最長で約 15m です。暗所で良好に撮影が可能な距離は 10m 程度とお考えください。(MTC-HD1132IR)

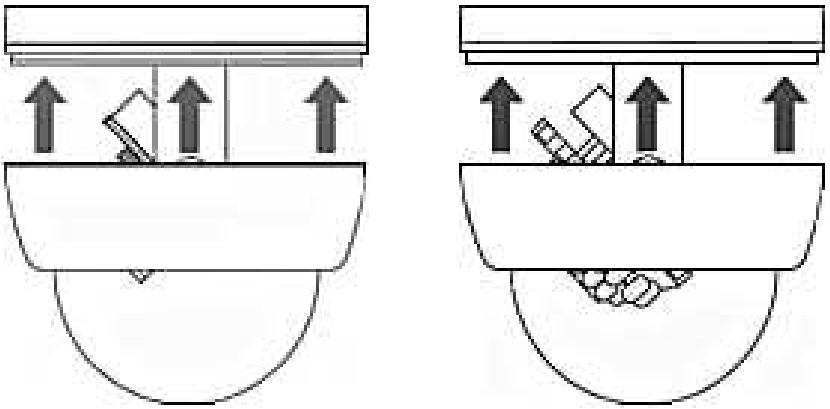
映像を確認しながらカメラの撮影角度を調整します。上下の角度調整はカメラ左右のネジを緩めてください。



映像を確認しながらレンズの画角と焦点を調整します。

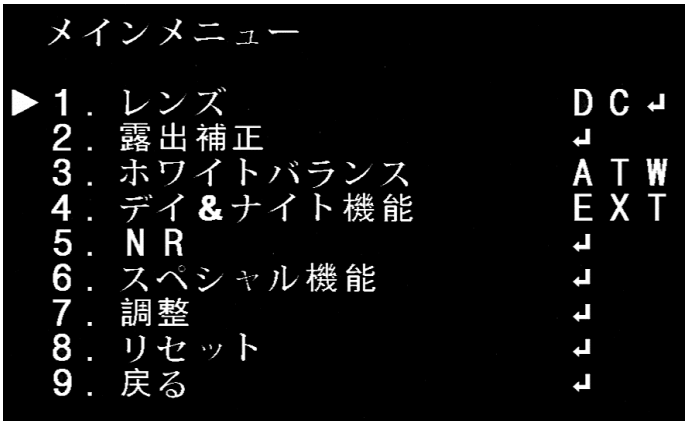


全ての調整が終わったら、ドームカバーを元の状態へ戻します。



4 メニュー設定

ご使用前にモニターに表示されるメニュー画面で各機能の設定をする必要があります。
正確な設定を行うことにより目的の撮影が可能となります。
OSD 操作スイッチで、モニターの画面に表示されるメニューで各機能を設定します。
OSD 操作スイッチを押すと、メニュー設定画面が表示されます。



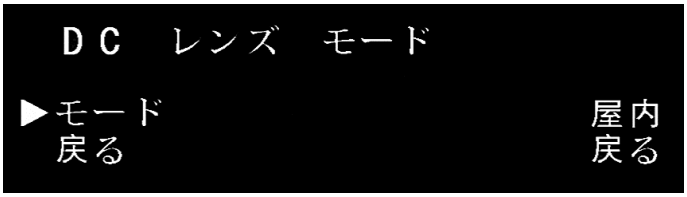
4-1 レンズ設定

レンズのアイリスモードを設定します。
カーソルを『レンズ』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で設定します。

DC	レンズ側でアイリスを自動調整
ビデオ	※本機のレンズは、DC タイプなので【ビデオ】は選択しません。
マニュアル	カメラ側でアイリスを調整

＜DC モード＞

【DC】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、DC レンズモード設定画面が表示されます。



カーソルを『モード』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で DC レンズモードを【屋内】または、【屋外】より選択します。

設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

4-2 露出補正

シャッタースピード・AGC・感度アップ・逆光補正などの設定をします。

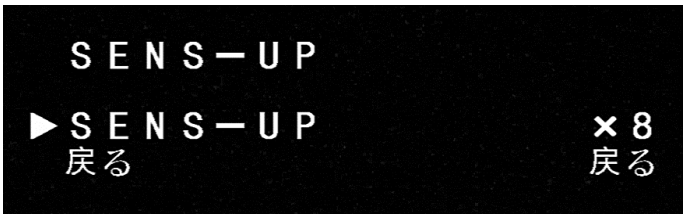
カーソルを『露出補正』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、露出補正設定画面が表示されます。

カーソルを設定項目に移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で設定します。

シャッタースピード	シャッタースピードを選択 【オート】【1/30】【1/60】【FLK(フリッカーレス)】【1/250】【1/500】【1/1000】【1/2000】【1/5000】【1/10000】【1/50000】【×2】【×4】【×6】【×8】【×10】【×15】【×20】【×30】【×60】
AGC	入射光量により信号レベルを制御して出力信号のレベルを一定にする機能 【オフ】【低】【中】【高】
SENS-UP	暗所撮影時の電子感度アップ機能　【オート】【オフ】
明るさ	明るさ(ブライトネス)を 1～100 で設定
D-WDR/ACCE	暗い部分と明るい部分の両方を鮮明に撮影する機能 【オフ】【低】【中】【高】
DEFOG	霧発生時や降雪時などの画面ノイズを低減する機能 【オフ】【低】【中】【高】
逆光補正	逆光の条件下で撮影する場合の補正機能 【オフ】【BLC】【HSBLC】

＜SENS-UP オート設定＞

【SENS-UP】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、SENS-UP 設定画面が表示されます。

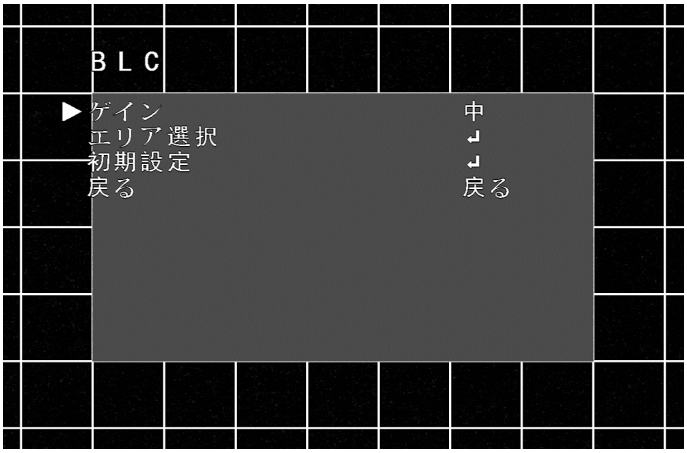


暗所撮影時の電子感度アップの倍率を【×2】【×4】【×6】【×8】【×10】【×15】【×20】【×30】【×60】より選択します。

＜逆光補正　BLC＞

逆光補正の調整強度と補正領域の設定をします。

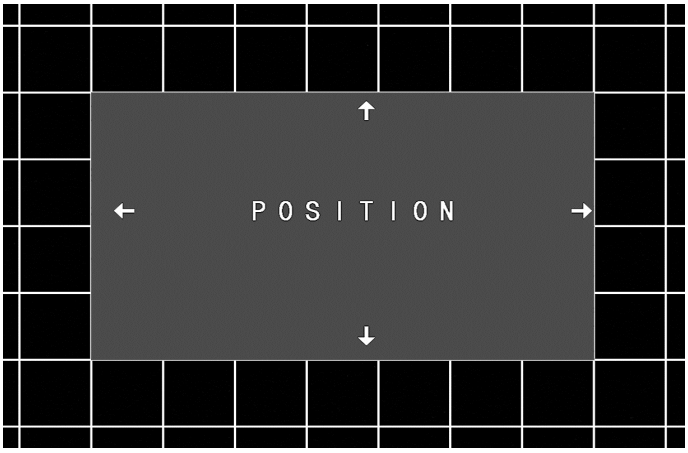
逆光補正で【BLC】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、BLC 設定画面が表示されます。



ゲイン	明暗の調整の度合いを選択 【低】【中】【高】
エリア選択	逆光補正領域を設定
初期設定	BLC 全ての設定を初期化

■エリア選択■

カーソルを『エリア選択』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、領域設定画面に切り替わります。

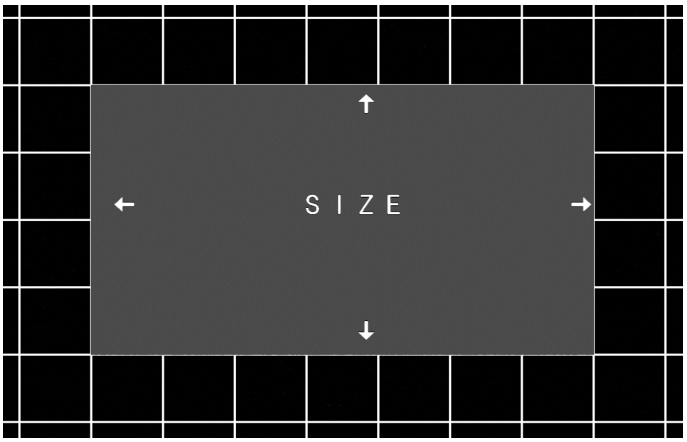


POSITION 画面で設定領域の位置を設定します。

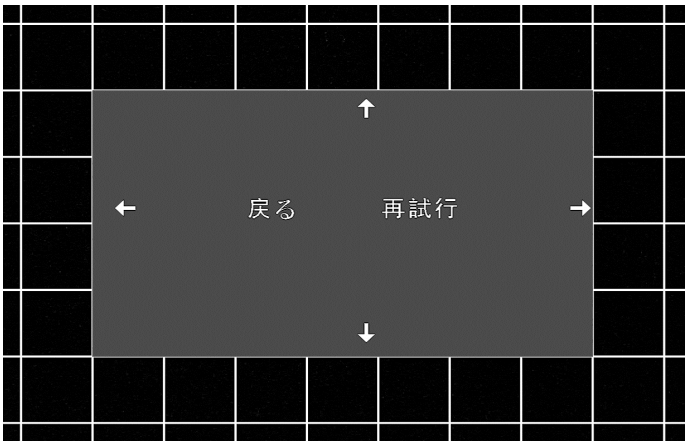
設定領域の位置は、左上の角が基準になります。

OSD 操作スイッチの上下左右操作で設定領域を移動させ、OSD 操作スイッチを押します。

次に SIZE 画面で設定領域の範囲を設定します。



OSD 操作スイッチの上下左右操作で設定領域の範囲を変更して OSD 操作スイッチを押します。



【戻る】を選択して OSD 操作スイッチを押すと設定が保存されます。
設定をやり直す場合は、【再試行】を選択して OSD 操作スイッチを押します。

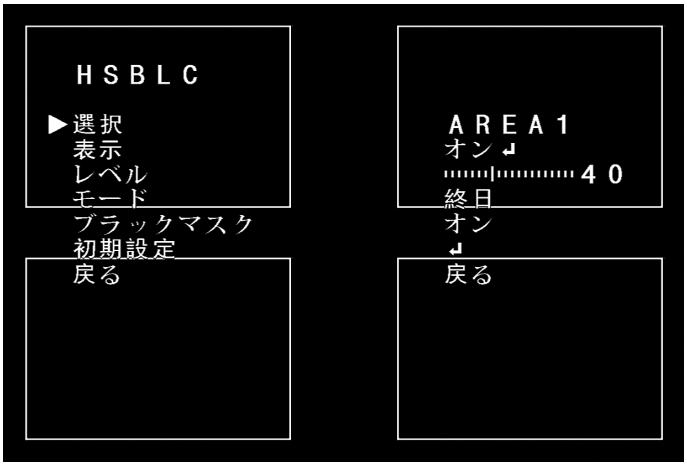
設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

＜逆光補正　HSBLC＞

極端に明るい場所にマスクをかけて暗い部分を鮮明に撮影する機能。

暗所の撮影時にライトの灯りなどが邪魔になる場合に使用します。

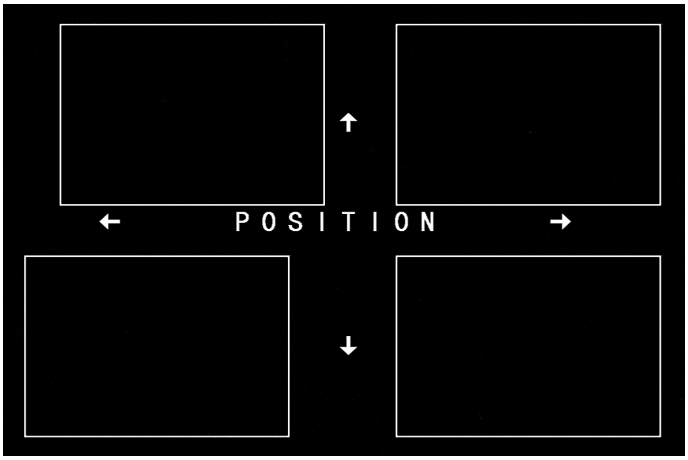
逆光補正で【HSBLC】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、HSBLC 設定画面が表示されます。



選択	設定する補正領域を選択 【AREA1】～【AREA4】
表示	選択した補正領域の表示と位置・サイズを設定 【オン】【オフ】
レベル	補正をする強さを設定 【0 強】～【100 弱】
MODE	モードを選択 【終日】【夜のみ】
ブラックマスク	設定領域【AREA1】～【AREA4】全体の表示設定 【オン】【オフ】
初期設定	HSBLC 全ての設定を初期化

■補正領域の位置とサイズの設定■

カーソルを『表示』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【オン】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、領域設定画面に切り替わります。

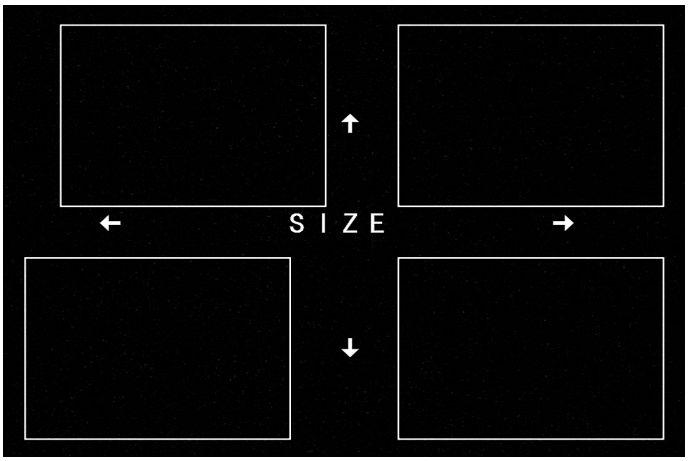


選択している設定領域が点滅します。

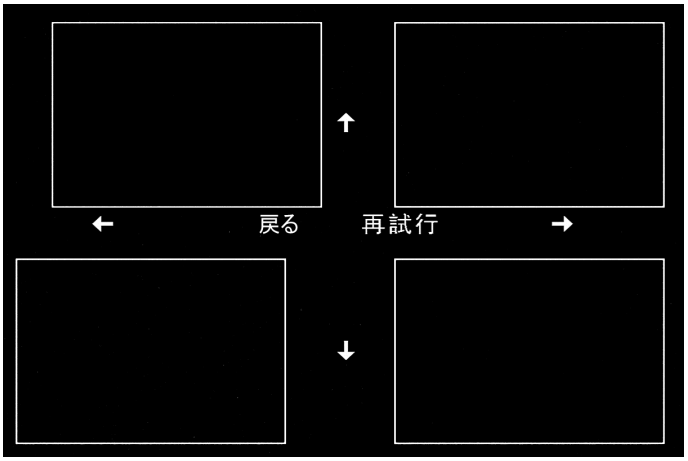
POSITION 画面で設定領域の位置を設定します。

設定領域の位置は、左上の角が基準になります。

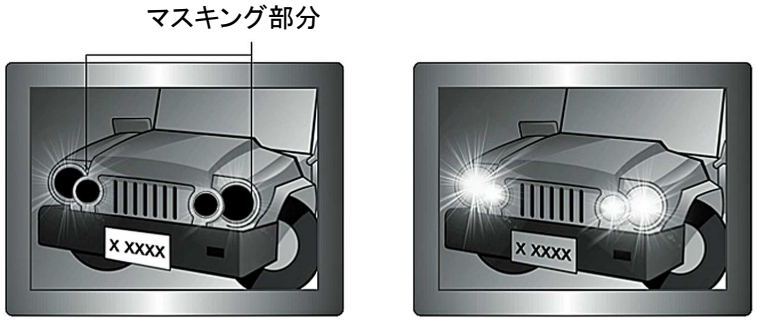
OSD 操作スイッチの上下左右操作で設定領域を移動させ、OSD 操作スイッチを押します。
次に SIZE 画面で設定領域の範囲を設定します。



OSD 操作スイッチの上下左右操作で設定領域の範囲を変更して OSD 操作スイッチを押します。



【戻る】を選択して OSD 操作スイッチを押すと設定が保存されます。
設定をやり直す場合は、【再試行】を選択して OSD 操作スイッチを押します。



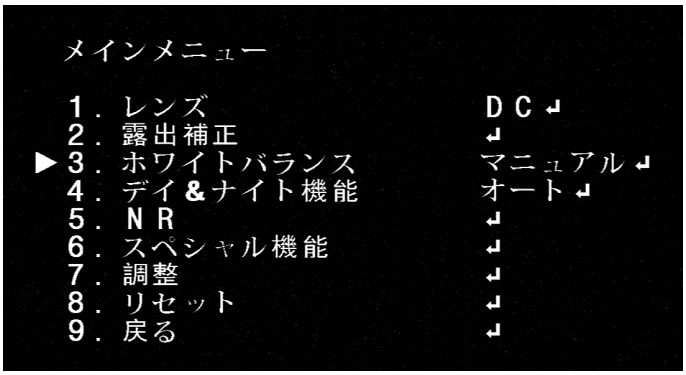
HSBLC オン　　HSBLC オフ

設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

4-3 ホワイトバランス

白い被写体を撮像した時に、白く再現するよう調整する機能です。

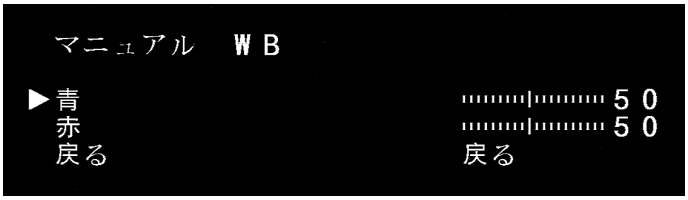
カーソルを『ホワイトバランス』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で設定します。



ATW	被写体の条件が変わっても自動追尾してホワイトバランスを調整
AWC→SET	光源に合わせてホワイトバランスを一定に調整 撮影中に OSD 操作スイッチを押すと自動的に調整されます。 被写体が変わった場合は、再度調整行ってください。 他の設定で実際の色が表現できない場合に使用します。
屋内	色温度が、おおよそ 5100K の時に選択
屋外	色温度が、おおよそ 3100K の時に選択
マニュアル	任意の数値に色ゲインを調整

＜マニュアル設定＞

【マニュアル】を選択して、OSD 操作スイッチを押すと、マニュアルホワイトバランス設定画面が表示されます。



カーソルを『青』または、『赤』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【0】～【100】にて調整します。

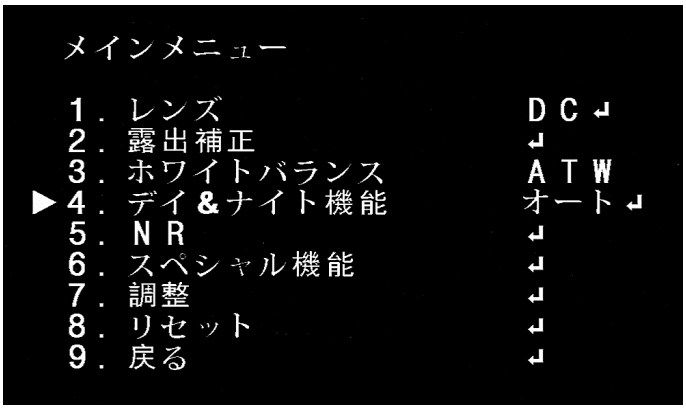
設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

4-4 デイ&ナイト機能

撮影環境が低照度状態（夜間など）になった場合のカラー/白黒の設定をします。

低照度状態では、白黒撮影の方が鮮明な映像が撮影できます。

カーソルを『デイ&ナイト機能』に移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で設定します。



EXT	CDS センサーによりカラーから白黒へ自動切替え（MTC-HD1132IR）
オート	設定したタイミングでカラーから白黒へ自動切替え
カラー	常にカラーで撮影
白黒	常に白黒で撮影

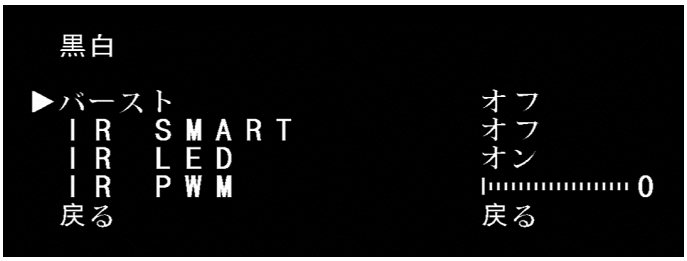
＜デイ&ナイト オート設定＞

【オート】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、D&N オート設定画面が表示されます。

DELAY	デイ・ナイトの切り替えの識別時間を設定 【0】～【60】 通過する自動車のライトなどの不必要な光の影響を受けなくすることが可能
D→N	デイ（カラー）からナイト（白黒）へ切り替わる輝度のレベルを設定 【0】～【100】 設定数値が高いほど、ナイトへの切り替えが早くなります。
N→D	N（白黒）から D（カラー）へ切り替わる輝度のレベルを設定 【0】～【100】 設定数値が低いほど、デイへの切り替えが早くなります。

＜デイ&ナイト　白黒設定＞

【白黒】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、白黒設定画面が表示されます。



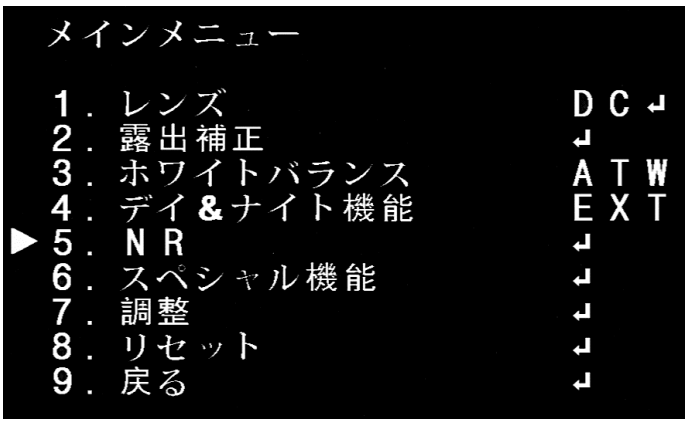
バースト	ナイトモード時のバースト信号の設定 【オン】【オフ】
IR SMART	スマート IR 機能の設定 【オン】【オフ】
IR LED	赤外線 LED の照射機能の設定 【オン】【オフ】
IR PWM	スマート IR 機能【オフ】設定時の赤外線照射の強度を調整 【0】～【100】

※スマート IR 機能：赤外線照射による乱反射を被写体に合わせて調整する機能

設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

4-5　NR(ノイズリダクション機能)

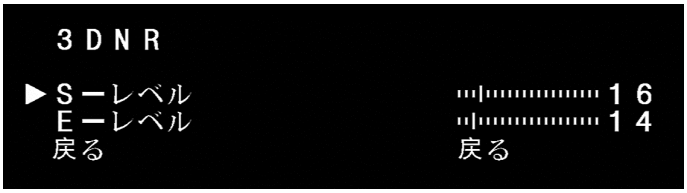
撮影条件に合わせ、画面上のノイズをデジタル処理によって低減させる機能です。
低照度環境下の撮影において、クリアでシャープな画質が得られます。
カーソルを『NR』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、2D&3D NR 設定画面が表示されます。



2DNR	撮影映像に激しい動きが多い場合に設定 【オン】【オフ】
3DNR	撮影映像に比較的動きが少ない場合に設定 【オン】【オフ】
レベル	ノイズリダクションの調整レベルを設定 【0】～【100】
SMART NR	被写体の状態に合わせて自動的にノイズを低減する機能 【オン】【オフ】

＜3DNR 設定＞

【3DNR】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、3DNR 設定画面が表示されます。



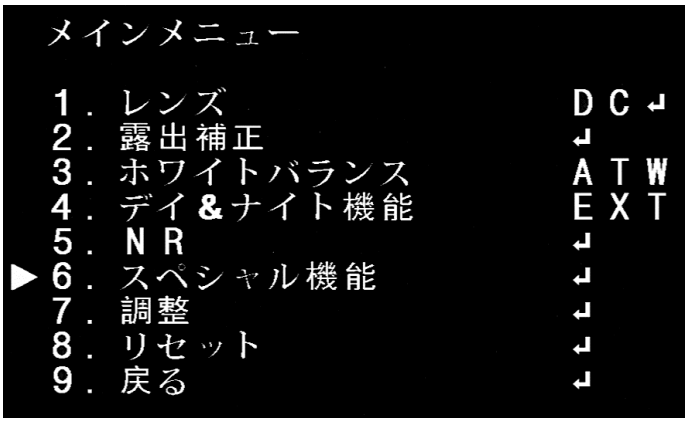
S-レベル	ノイズ調整の明るさの開始レベルを設定
E-レベル	ノイズ調整の明るさの終了レベルを設定

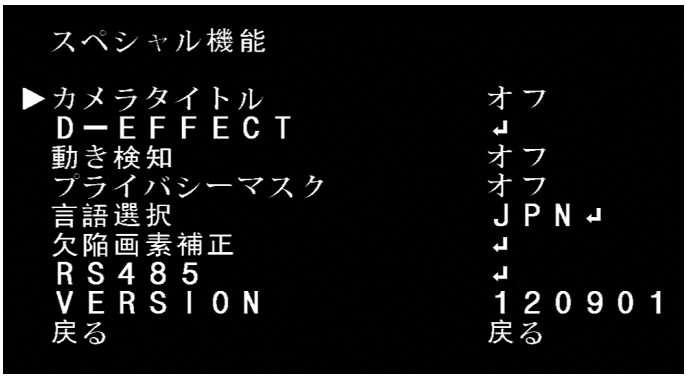
設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

4-6 スペシャル機能

カメラタイトル・デジタル画像処理・動き検知・プライバシーマスク・言語選択・欠陥画素補正の設定をします。

カーソルを『スペシャル機能』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、スペシャル機能設定画面が表示されます。

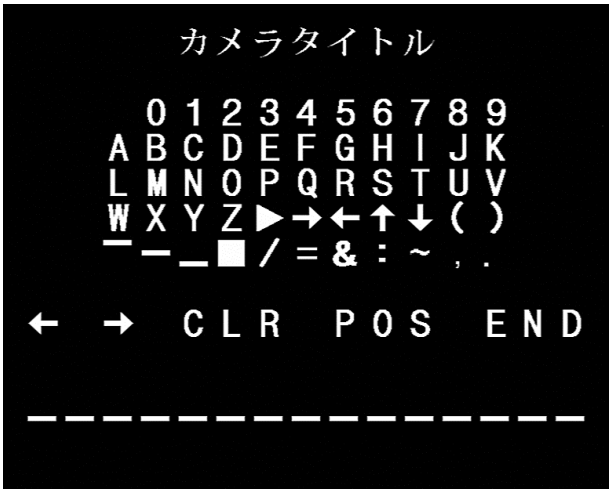




＜カメラタイトル＞

カメラタイトルを 15 文字以内で設定し、画面上に表示することができます。

カーソルを『カメラタイトル』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【オン】選択して OSD 操作スイッチを押すと、カメラタイトル設定画面が表示されます。

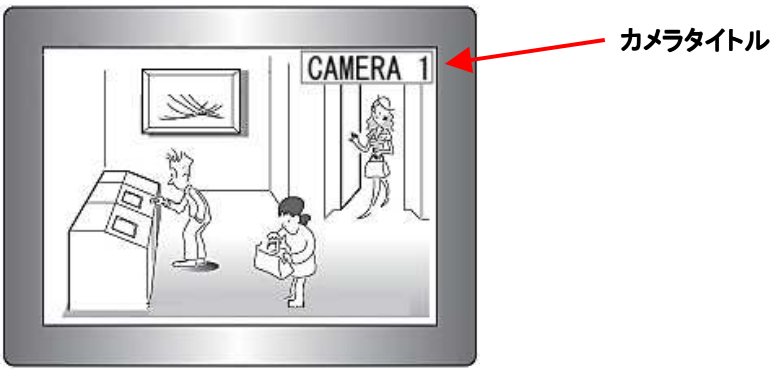


設定位置が点滅しますので、OSD 操作スイッチの上下左右操作で、選択する数字または、アルファベット移動して OSD 操作スイッチを押すと、カメラタイトルが設定されます。

【←】【→】に移動して OSD 操作スイッチを押すと、設定中のカメラタイトルが移動します。

【CLR】に移動して OSD 操作スイッチを押すと、設定中のカメラタイトルが全て消去されます。

【POS】に移動して OSD 操作スイッチを押すと、カメラタイトル位置設定画面に切り替わります。



カメラタイトルの画面上の表示位置を設定します。
OSD 操作スイッチの左右上下操作でカメラタイトルの表示位置が移動します。
カメラタイトルの表示位置が決まったら、OSD 操作スイッチを押して戻ります。
カメラタイトルの設定が終わったら、【END】へ移動して OSD 操作スイッチを押して戻ります。

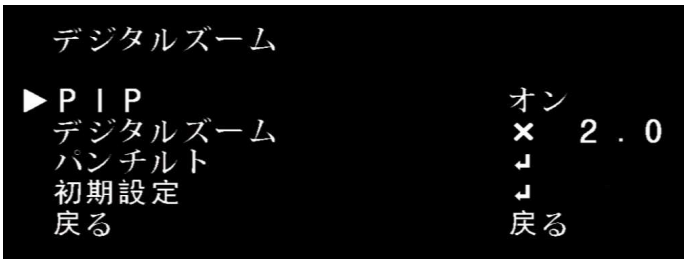
＜D-EFFECT　デジタル画像処理機能＞

静止画像・画像反転・デジタルズーム・ネガ画像の設定をします。
カーソルを『D-EFFECT』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、D-EFFECT 設定画面が表示されます。

カーソルを各設定項目へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で設定します。

フリーズ	画像静止機能の設定 【オン】【オフ】
ミラー	画像反転機能の設定 【ミラー 左右反転】【V-FLIP 上下反転】【回転 上下左右反転】
デジタルズーム	デジタルズーム機能の設定 【オン】【オフ】
ネガティブイメージ	ネガ画像の設定 【オン】【オフ】

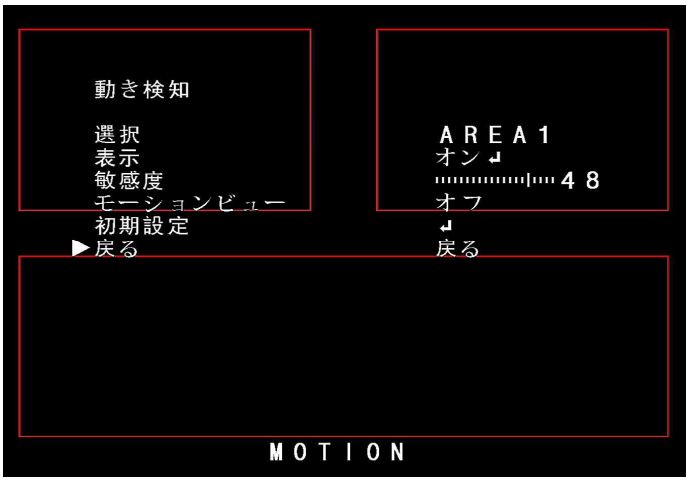
■デジタルズーム設定■
カーソルを『デジタルズーム』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【オン】選択して OSD 操作スイッチを押すと、デジタルズーム設定画面が表示されます。



PIP	ピクチャーインピクチャー画面の設定 【オン】【オフ】
デジタルズーム	デジタルズームの倍率を設定 【×2】～【×64】
パンチルト	デジタルズームの位置と PIP の表示位置を上下左右で調整
初期設定	デジタルズーム全ての設定を初期化

＜動き検知＞

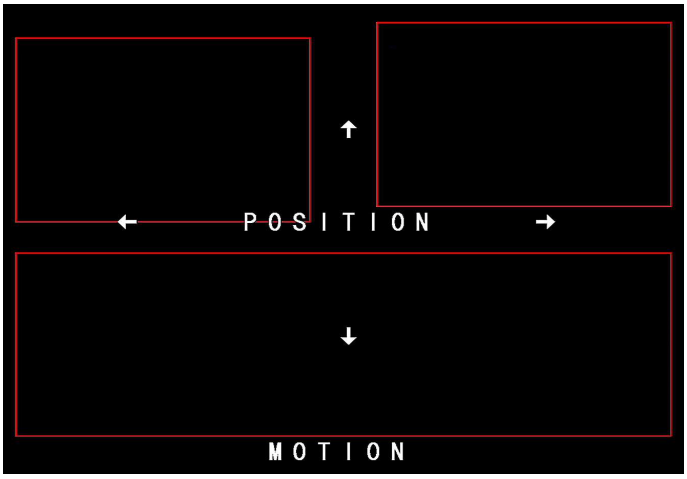
画面上の動体に反応して、ブロック表示することができます。
カーソルを『動き検知』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【オン】選択して OSD 操作スイッチを押すと、動き検知設定画面が表示されます。



選択	設定する検知領域を選択 【AREA1】～【AREA3】
表示	選択した検知領域の表示と位置・サイズを設定 【オン】【オフ】
敏感度	検知感度を設定 【0 強】～【60 弱】
モーションビュー	動き検知時のブロック表示の設定 【オン】【オフ】
初期設定	動き検知全ての設定を初期化

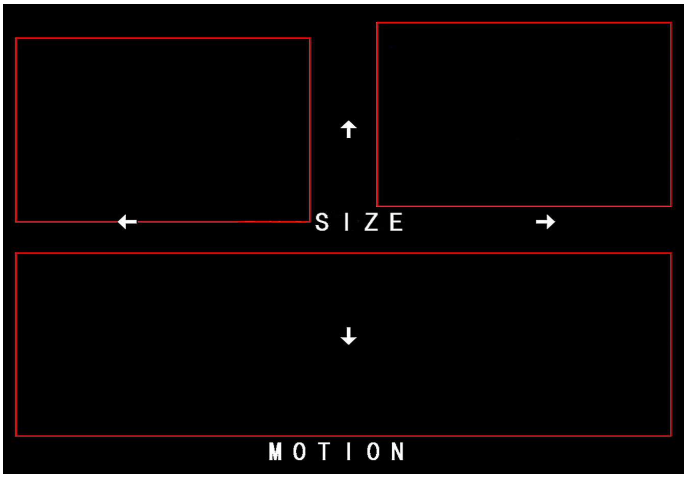
■検知領域の位置とサイズの設定■

カーソルを『表示』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【オン】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、領域設定画面に切り替わります。

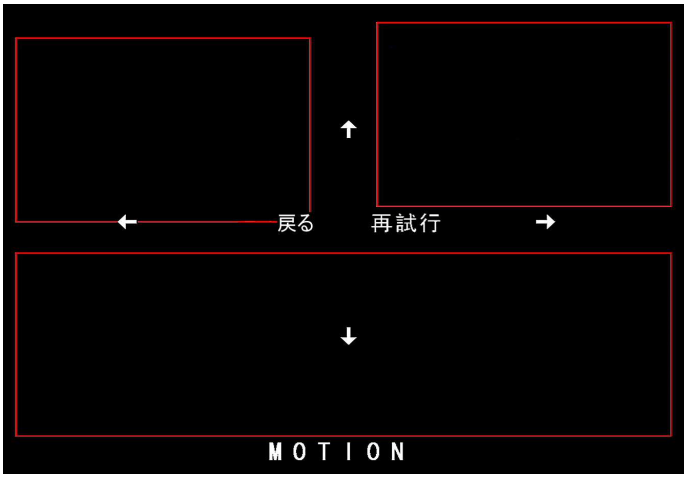


選択している設定領域が点滅します。
POSITION 画面で設定領域の位置を設定します。
設定領域の位置は、左上の角が基準になります。
OSD 操作スイッチの上下左右操作で設定領域を移動させ、OSD 操作スイッチを押します。

次に SIZE 画面で設定領域の範囲を設定します。



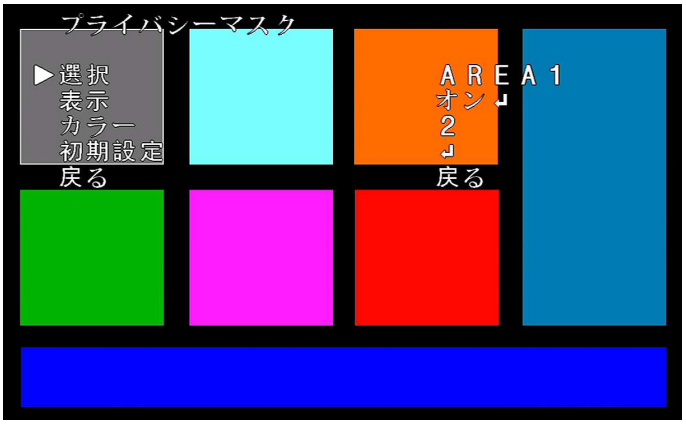
OSD 操作スイッチの上下左右操作で設定領域の範囲を変更して OSD 操作スイッチを押します。



【戻る】を選択して OSD 操作スイッチを押すと設定が保存されます。
設定をやり直す場合は、【再試行】を選択して OSD 操作スイッチを押します。

＜プライバシーマスク＞

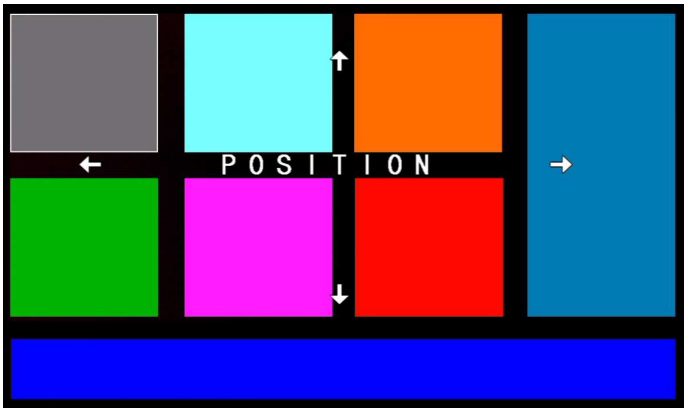
カーソルを『プライバシーマスク』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【オン】選択して OSD 操作スイッチを押すと、プライバシーマスク設定画面が表示されます。



選択	設定するマスク領域を選択 【AREA1】～【AREA8】
表示	選択したマスク領域の表示と位置・サイズを設定 【オン】【オフ】
カラー	マスク領域のカラーを設定 【1】～【16】
初期設定	プライバシーマスク全ての設定を初期化

■マスク領域の位置とサイズの設定■

カーソルを『表示』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【オン】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、領域設定画面に切り替わります。



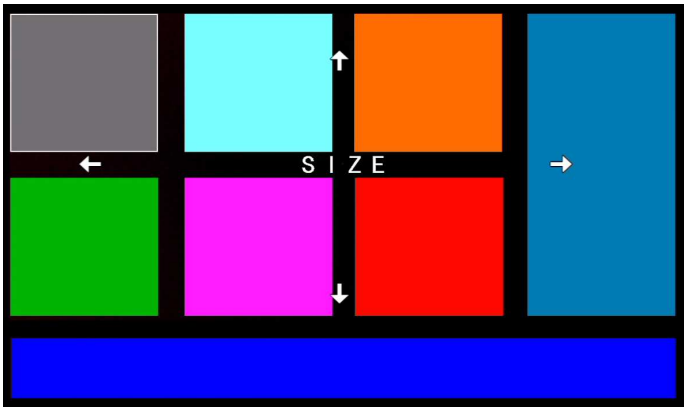
選択している設定領域が点滅します。

POSITION 画面で設定領域の位置を設定します。

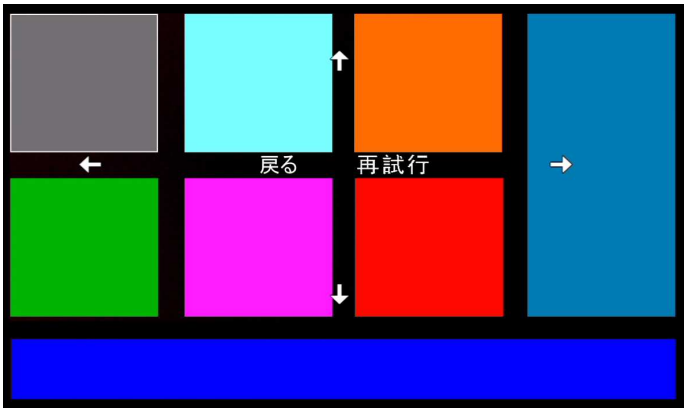
設定領域の位置は、左上の角が基準になります。

OSD 操作スイッチの上下左右操作で設定領域を移動させ、OSD 操作スイッチを押します。

次に SIZE 画面で設定領域の範囲を設定します。



OSD 操作スイッチの上下左右操作で設定領域の範囲を変更して OSD 操作スイッチを押します。



【戻る】を選択して OSD 操作スイッチを押すと設定が保存されます。
設定をやり直す場合は、【再試行】を選択して OSD 操作スイッチを押します。

＜言語選択＞

メニューを表示する言語を選択します。
カーソルを『言語選択』に移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で設定します。

【JPN 日本語】【ENG 英語】【CHN1 中国語】【CHN2 中国語】より選択して OSD 操作スイッチを押します。

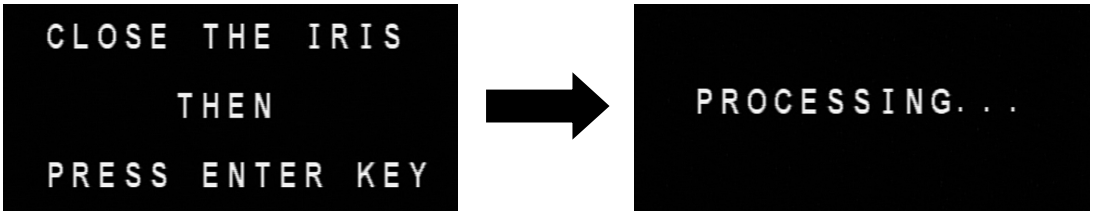
＜欠陥画素補正＞

低照度撮影時のイメージセンサーの欠陥画素を自動的に補正する機能です。
カーソルを『欠陥画素補正』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、欠陥画素補正設定画面が表示されます。

ライブ欠陥画素補正	欠陥画素補正を自動で行う場合に設定 【オン】【オフ】
レベル	自動欠陥画素補正レベルを設定 【0】～【60】
STATIC DPC	欠陥画素補正を手動で行う場合に設定 【オン】【オフ】
スタート	手動欠陥画素の補正の開始
レベル	手動欠陥画素補正レベルを設定 【0】～【60】
SENS-UP	欠陥画素を検索する感度を選択 【×2】【×4】【×6】【×8】【×10】【×15】【×20】【×30】【×60】

■手動欠陥画素補正■

STATIC DPC を【オン】に設定し、手動欠陥画素補正レベル設定後にカーソルを『スタート』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押します。
補正開始画面が表示されますので、レンズ部分を塞いで画面全体を黒くしたら OSD 操作スイッチを再度押します。



[PROCESSING･･･]と表示され、欠陥画素補正を開始します。
欠陥画素補正設定画面に戻ったら補正終了です。

＜RS485＞

本機は、RS485 には対応していませんので、設定の必要はありません。

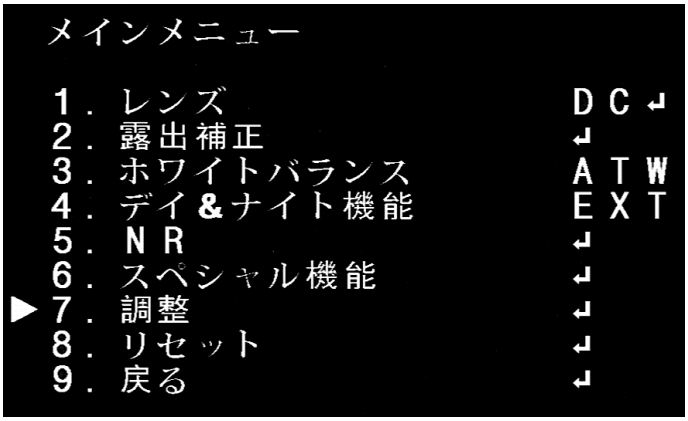
＜VERSION＞

本機のファームウェアのバージョンを表示しています。

全ての設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

4-7 調整

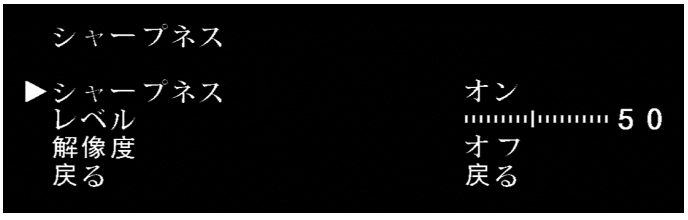
シャープネス調整・モニター選択・OSD カラー・レンズシェディング補正の設定をします。
カーソルを『調整』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、調整設定画面が表示されます。



シャープネス	シャープネスを調整
モニター	使用するモニターを選択 【LCD】【CRT】
OSD	OSD メニューの文字色を選択
レンズシェディング補正	レンズの周辺光量低下を補正し、画面全体が平均的な明るさになるように調整する機能 【オン】【オフ】
NTSC/PAL	※日本国内は【NTSC】で使用しますので変更の必要はありません。

＜シャープネス調整＞

カーソルを『シャープネス』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、シャープネス設定画面が表示されます。



シャープネス	シャープネス調整の設定 【オン】【オフ】
レベル	シャープネスの調整レベルを設定 【0】～【100】
解像度	解像度調整の設定 【オン】【オフ】

＜モニター設定＞

カーソルを『モニター』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【LCD】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、モニターLCD 設定画面が表示されます。

ガンマ	ガンマ値の設定 【AUTO】【USER1】【USER2】【0.45】【0.50】【0.55】【0.60】【0.65】【0.70】【0.75】【0.80】【0.85】【0.90】【0.95】【1.00】
青ゲイン	青ゲインを調整 【0】～【100】
赤ゲイン	赤ゲインを調整 【0】～【100】

【CRT】を選択して OSD 操作スイッチを押すと、モニターCRT 設定画面が表示されます。

ブラックレベル	画面の黒レベルを調整 【-30】～【+30】
青ゲイン	青ゲインを調整 【0】～【100】
赤ゲイン	赤ゲインを調整 【0】～【100】

＜OSD 設定＞

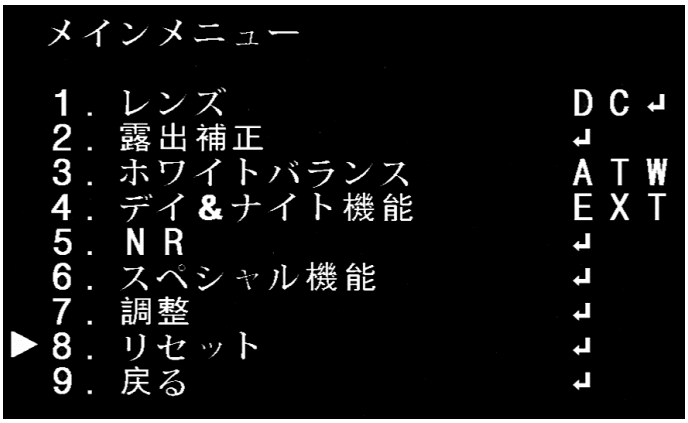
カーソルを『OSD』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、モニターLCD 設定画面が表示されます。

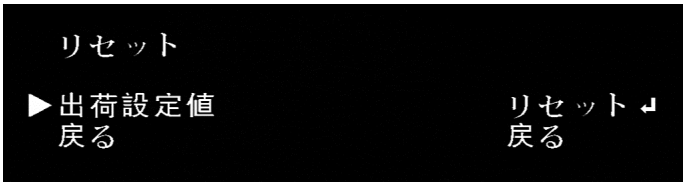
文字色	OSD メニューの文字色を設定 【1 白】【2 黒】【3 黄】【4 水色】【5 緑】【6 ピンク】【7 赤】【8 青】
OUT LINE	OSD メニュー表示文字の輪郭設定 【オン】【オフ】

設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

4-8 リセット

全てのメニュー設定を初期化します。
カーソルを『リセット』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、リセット設定画面が表示されます。





カーソルを『出荷設定値』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、全てのメニュー設定が初期化されます。
初期化が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で、【戻る】または、【終了】を選択し、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

4-9 戻る

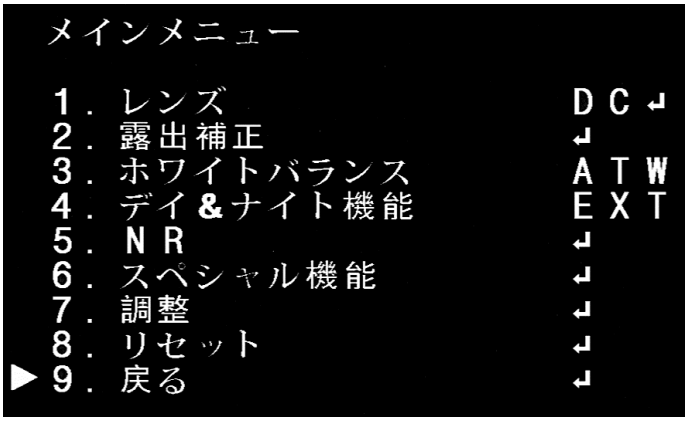
メニュー設定を終了します。
カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押すと、メニュー設定が終了し、通常の撮影画面へ戻ります。

※無操作状態から約 1 分が経過すると、自動的に全てのメニュー設定画面を終了します。

4-10 解像度の変更

通常の映像出力は、1080p ですが、レコーダーやモニターに合わせて、映像出力の解像度を 720p に変更することができます。

カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチの右操作を 3 回繰り返してから OSD 操作スイッチを押すと、設定変更画面が表示されます。

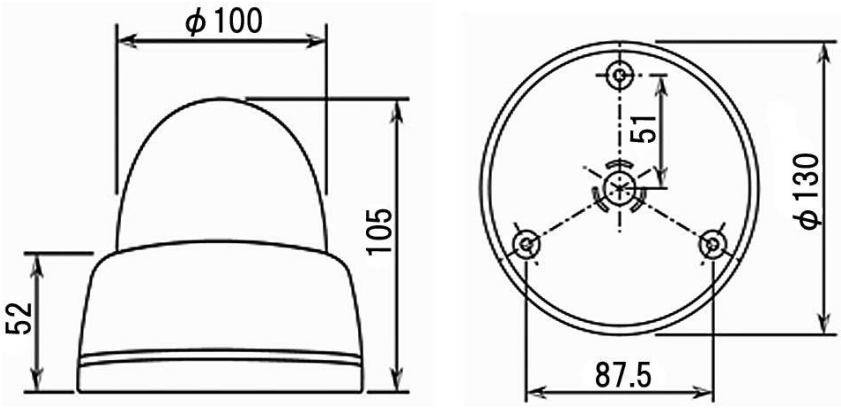


カーソルを『HD FORMAT』へ移動させ、OSD 操作スイッチの左右操作で【720p】を選択します。

設定が終わったら、カーソルを『戻る』へ移動させ、OSD 操作スイッチを押して戻ります。

※『HD FORMAT』以外の設定は、変更しないでください。

5 寸法図



単位：mm

6 仕 様

イメージセンサー	1/3 インチカラーCMOS 2.1Megapixel Pnasonic 製
有効画素	1920(H)×1080(V)
レンズ	2.8～11mm(F1.4)
水平視野角	約 81～25°
走査方式	プログレッシブ
水平解像度	1000TV ライン
逆光補正	BLC/HSBLC
ワイドダイナミックレンジ	高/中/低/オフ
ビデオ信号出力	1.485G/s (HD-SDI)/1.0Vp-p 75Ω(アナログ)
映像出力端子	BNC.J(HD-SDI×1/確認用アナログ×1)
被写体最低照度	0.5Lux(F1.2) /感度アップ時 0.01Lux(60 倍)
電子感度アップ	2～60 倍
SN 比	50dB 以上
デイナイト機能	オート/カラー/白黒/EXT
オートゲインコントロール	高/中/低/オフ
ホワイトバランス	ATW/マニュアル/屋外/屋内/AWC→SET
シャッタースピード	1/60～1/50000 秒
ノイズリダクション	3D-DNR
プライバシーマスク	8 ヶ所任意設定
その他の機能	デジタルズーム機能/画像反転機能/欠陥画素補正/レンズシェディング補正
赤外線照射距離	最長約 15m(LED30 個/850nm)
電源	DC12V±1V(センタープラス)
消費電流	約 500mA(最大)
使用動作温度範囲	-10～40°
重量	約 350g
付属品	AC アダプター・取付ネジ・映像確認用コード・カバーオープナー 防犯カメラ設置シール

7 修理に関して

不具合の原因が設定の問題や一時的な誤動作で、物理的な異常では無いものがあります。このため、修理のご依頼の前に設定をご確認頂き、電源の再投入や設定の初期化を試して頂きますようお願い致します。

＜修理に関するお問い合わせ先＞
株式会社マザーツール　業務部 修理課
〒386-0033　長野県上田市御所431-4
TEL:0268(75)8578　FAX:0268(25)8410

保証書（持込修理）

製品に本保証書を添えて、ご購入販売店又は弊社宛にご送付ください。
ご購入年月日は販売店にてご記入願います。
販売店名及びその押印無きものは無効となりますので、ご購入時に必ずご確認ください。

型番 **MTC-HD1122/MTC-HD1132IR** serial	
お買い上げ日　：　　年　　月　　日	
保証期間　：　お買い上げ日より１年間	
お客様	お名前
	ご住所
	電話番号
販売店	店名／住所／電話番号 ㊞

保証規定

保証期間中に取扱説明書に添った正常な使用状態で故障等が生じた場合は、保証規定により、無償修理または同等品もしくは代用品と交換致します。
但し、下記事項に該当する場合は、保証の対象から除外致します。

①製品仕様で定める使用可能な範囲を超えた条件（定格や環境等）や取扱説明書の手順、注意事項を怠ったことが原因とする故障及び損傷
②弊社以外による修理または改造に起因する故障
③ご購入後の輸送または落下等による故障
④火災・水害・地震・落雷等の天災地変及び公害・塩害・ガス害（硫化ガス等）・異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）等による故障及び損傷
⑤消耗部品の交換または補充
⑥保証書の提出が無い場合
⑦その他、弊社の責任とみなされない故障

※本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
※本保証書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
※この保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社マザーツール
〒386-0033　長野県上田市御所431－6

— 輸入販売元 —

Mother Tool

株式会社　マザーツール

〒386-0033 長野県上田市御所 431-6

TEL0268-25-2332　FAX0268-25-2398

2014 年 4 月作成